

第1回会議における交付金に関する市町村からの主な要望・提案への対応について

| 項目 | 市町村名 | 要 望 ・ 提 案 | 県の対応 |
|-----------------------|-------|--|---|
| UIJター ン | 豊後高田市 | ・大卒者にどうやって帰ってきてもらうかが課題。 | 【おおいたUIJターン就職促進事業：説明資料3の2頁参照】 ・県外での合同企業説明会に加え、県外から県内企業へのインターンシップへの支援(旅費の補助)、首都圏での就職面接会、大学訪問、保護者向け情報発信、就職セミナー開催等、県外進学者の県内就職対策を強化予定。 |
| | 九重町 | ・地場産業、農業、林業、観光産業等の人材確保が課題。 | 【ふるさと大分UIJターン推進事業：説明資料3の2頁参照】 ・移住に関する東京のワンストップ窓口として、移住コンシェルジュを配置予定。 【おおいたUIJターン就職促進事業：説明資料3の2頁参照】 ・UIJターン就職希望者等の就職支援を行う「おおいた産業人材センター」の体制強化を予定。 ・UIJ希望者の就職の最終面接に係る旅費助成や、プロフェッショナル人材の受入費用(給与、宿泊費等)を助成予定。 【移住就農者拡大対策事業：説明資料3の2頁参照】 ・移住就農希望者の週末就農体験や短期研修への参加費助成を実施予定。 【27年度当初予算で検討中】 ・高校生、大学生を対象にした林業インターンシップ制度を創設予定。 |
| | 竹田市 | ・県外からの移住者が空き家バンクを活用する場面は意外に少ない。新築したいという方も結構いるのでこのあたりを支援できる施策がほしい。 | 【移住者居住支援事業：説明資料3の2頁参照】 ・UIJターンの決定を後押しするため、住宅確保に係る新築・購入費用や改修費用及び移転費用等について、市町村と共に支援予定。 |
| しごとづく り | 姫島村 | ・水産業の後継者がいない。担い手確保に向けた国の制度はあるが、研修後に独立か4親等以上の漁家に就労することが条件であり、使いづらい。 | 【27年度当初予算で検討中】 ・県漁協と連携し、漁業学校を創設・拡充予定。これにより、国の青年就業準備給付金(1,500千円/年)の活用が可能。 ・国の給付金の対象外となる3親等以内の漁家に従事する就業希望者についても、地域の実情を考慮し、国と同様の支援となるよう、県単の給付金制度を創設予定。 |
| | 佐伯市 | ・林業では、韓国、中国へのプレカットの輸出が増えている。輸出を製材品で出すと地域の雇用も発生するので、木材を加工して輸出していくことが重要。 | 【27年度当初予算で検討中】 ・九州一体となって、九州材として海外需要の拡大を図るため、輸出経費や海外の住宅フェア出展経費を助成予定。 |
| 少 子 化 対 策 | 杵築市 | ・子育て環境の整備、子育ての経済的負担の軽減が必要。 | 【おおいた子育てほっとクーポン活用事業：説明資料3の3頁参照】 ・子育て支援サービスの周知と活用促進を図るとともに、子育て家庭の精神的・身体的・経済的負担を軽減するため、当該年度に出生した子どもに対し、子育てほっとクーポンを配布する事業を、市町村と共同して創設予定。 ・さらに子育てクーポン制度創設にあたっての経過措置として、6歳までの未就学児についても、クーポン券を全額県負担により配布予定。 |